

授業科目 アドバンスト・ヘルスアセスメント	科目概要・形式 2 単位 30 時間(14 コマ) 講義科目	配当年次 博士前期 1 年次 前期開講	オンライン参加 10 コマは演習を含むため対面授業 5 コマはリモートで可			
科目責任者	角濱 春美					
担当者	角濱 春美、小池 祥太郎、千葉 武揚					
1. 科目のねらい・目標						
複雑な健康問題をもった対象の身体・精神状況について系統的に全身を診査し、臨床看護判断を行うために必要な看護ヘルスアセスメントの知識・技術を習得する。 ＜到達目標＞						
1. 看護ヘルスアセスメントの概念について説明できる。 2. フィジカルアセスメントの基本手技および問診・精神状態のアセスメントの手法を理解し、系統的フィジカルアセスメントを実施できる。 3. ヘルスアセスメントの知識・技術を用いて複雑な健康問題をもった対象の身体・精神的状況について臨床看護判断できる。						
2. 授業計画・内容						
【角濱】リモート可 1回目：フィジカルアセスメントの背景 ・看護におけるヘルスアセスメントの意義 2回目：フィジカルアセスメントの基本 ・フィジカルアセスメントの基本的技法、問診、身体診察の基本 ・精神機能のアセスメント 心理社会的障害の鑑別：抑うつ、せん妄 【小池】対面 3・4回目：・外皮・感覚器系のフィジカルアセスメント ・皮膚、爪、頭頸部、耳、眼、鼻、口腔の診察法 5・6回目：・腹部のフィジカルアセスメント ・筋骨格系のフィジカルアセスメント 【千葉】対面 7・8回目：・呼吸器系のフィジカルアセスメント 9・10回目：・循環器系のフィジカルアセスメント 【角濱】対面 11回目：・泌尿器・生殖器系のフィジカルアセスメント 12回目：・中枢神経系・脳神経系のフィジカルアセスメント 【小池】リモート可 13回目：検査データからの臨床判断 ・血液検査のデータの読み方 ・心電図及び胸腹部 X 線写真の読み方 【角濱・小池・千葉】リモート可 14・15回目：統合演習 ・各専門領域で遭遇する複雑な健康問題をもった事例を取り上げ、その対象へのフィジカルアセスメントを討議する						
3. 教科書、参考書						
＜教科書＞ 翻訳：Lynn S. Bickley ら著 福井次矢ら訳：ベイツ診察法 第3版、						

メディカル・サイエンス・インターナショナル、2022. ISBN 978-4-8157-3056-7

元本 : Lynn S. Bickley et al.: Bates' Guide to Physical Examination and History Taking 13th Edition, Lippincott, 2020. ISBN/ISSN:9781496398178

角濱春美編 : 看護実践のための根拠がわかる基礎看護技術、メディカルフレンド社、2020.

ISBN 978-4-8392-1666-5

<参考書>

授業で随時紹介

4. 成績評価方法

統合演習のプレゼンテーション (80%) と統合演習のまとめレポート (20%)

5. 受講要件

なし

6. 社会人学生に対する配慮

夜間開講とする。

7. その他

技術演習が含まれるため、10 コマは大学に来学しての授業となる。これ以外は、学生の要望により、リモートでの同時双方向型授業を行うことができる。

全て参加型のアクティブラーニングであるため、オンデマンドには対応しない。